

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 「まじ」の用法を答えよ。

雨降るまじ。

Q2. 用法を答えよ。

我れ行くまじ。

Q3. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめ帰るまじ。ここにて待て。

Q4. 用法を答えよ。

子は親に逆らふまじ。

Q5. 用法を答えよ。

この文は、文字かすかにて、え読むまじ。

Q6. 用法を答えよ。

まらうどのおはするほどは、なんぢ、ゆめ座を立つまじ。

Q7. 用法を答えよ。

我れ歌詠むまじ。

Q8. 用法を答えよ。

風吹くまじ。

Q9. 用法を答えよ。

なんぢ、この薬を飲みてのちは、ゆめ物食ふまじ。

Q10. 用法を答えよ。

人は、受けし恩を忘るまじ。

Q11. 用法を答えよ。

月明らかなるまじ。

Q12. 用法を答えよ。

我れ仕うまつるまじ。

Q13. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめこの池の魚を捕るまじ。

Q14. 用法を答えよ。

若き者は、学問を怠るまじ。

Q15. 用法を答えよ。

「風強ければ、今日は高き所には登りたまふまじ。庭にて遊びたまはむこそよからめ」と、乳母、若君に聞こゆ。

Q16. 用法を答えよ。

我れもまた、都へは帰るまじ。

Q17. 用法を答えよ。

月、いまだ西に傾くまじ。

Q18. 用法を答えよ。

なんぢ、宿直（とのゐ）の夜は、ゆめ眠るまじ。

Q19. 用法を答えよ。

かの人は、頼もしき人なるまじ。

Q20. 用法を答えよ。

我れ歌の道を捨つまじ。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 用法を答えよ。

言ふまじきことを言ふ。

Q22. 用法を答えよ。

我れ、ふたたびここへは来（く）まじ。

Q23. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめこの寺の花を折るまじ。

Q24. 用法を答えよ。

隣の人は、このことをまだ知るまじ。

Q25. 用法を答えよ。

いまだ若ければ、よろづのことをえ知るまじ。

Q26. 用法を答えよ。

雪降るまじき夜なり。

Q27. 用法を答えよ。

われ、今はかの人にふみ書くまじ。

Q28. 用法を答えよ。

かれはあやしき者なれば、なんぢ、道を問ふまじ。かの寺の法師にこそ問はめ。

Q29. 用法を答えよ。

「かしこへは行くまじ」と、父、子を戒む。

Q30. 用法を答えよ。

なんぢ、命危ふければ、今宵は出づまじ。夜明けてこそ出でめ。

Q31. 用法を答えよ。

空のけしきを見るに、今宵は風しづまるまじかめり。

Q32. 用法を答えよ。

我れ忘るまじ。

Q33. 用法を答えよ。

世を捨てたる人は、名利を求むまじ。

Q34. 用法を答えよ。

宮は、今宵は御琴も弾かせたまふまじ。

Q35. 用法を答えよ。

なんぢ、御前にては、ゆめあらぬさまにふるまふまじ。

Q36. 用法を答えよ。

この海、舟にてもえ渡るまじ。

Q37. 用法を答えよ。

あだなる契りは結ぶまじきものぞ。

Q38. 用法を答えよ。

われら二人は、命あらむかぎり別るまじ。

Q39. 用法を答えよ。

その所領、奪はるまじ。

Q40. 用法を答えよ。

「御簾の外には出づまじ」と、母君、姫君を戒めたまふ。

Q41. 用法を答えよ。

海月の骨は、いかに求むとも、え得まじ。

Q42. 用法を答えよ。

かの翁は、この宝を人に売るまじ。

Q43. 用法を答えよ。

怠るまじき御つとめなり。

Q44. 用法を答えよ。

人に見すまじく思ふ。

Q45. 用法を答えよ。

我れ、今よりのちは、あやまちすまじ。

Q46. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめゆめ人の物を盗むまじ。

Q47. 用法を答えよ。

この川の水、とみには澄むまじかりけり。

Q48. 用法を答えよ。

なんぢ、この猫はいとほしければ、捨つまじ。家にて養はむこそよからめ。

Q49. 用法を答えよ。

人に仕ふる身は、主に背くまじ。

Q50. 用法を答えよ。

われ、このことをば人に語るまじ。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 用法を答えよ。

上は、この歌をばよしとも仰せらるまじ。

Q52. 用法を答えよ。

われは、この人をぞ見捨つまじき。

Q53. 用法を答えよ。

親は、子のことに惑ふまじきを、なほ心の闇に惑ひぬ。

Q54. 用法を答えよ。

学ぶ人こそ、知らぬことを問ふを恥づまじけれ。

Q55. 用法を答えよ。

人の身は、千年をえ経（ふ）まじ。

Q56. 用法を答えよ。

「君、ゆめこの契りをたがへたまふまじ」と、女、男に言ふ。

Q57. 用法を答えよ。

宮、御心地悪しくおはしませば、なんぢ、いと近くは参るまじ。御簾の外にこそ候はめ。

Q58. 用法を答えよ。

帝は、今年は御位を譲り給ふまじ。

Q59. 用法を答えよ。

法師なりとも、歌を詠むまじきにあらず。

Q60. 用法を答えよ。

「今は人にも会ふまじ」と言ひて、山に籠もりぬ。

Q61. 用法を答えよ。

軽き身の者は、身に過ぎたる位を望むまじ。

Q62. 用法を答えよ。

我れこの暗き道踏み迷ふまじ。

Q63. 用法を答えよ。

人を使ふ身は、心狭くてはあるまじ。

Q64. 用法を答えよ。

潮満ち来れば、渚にはえとどまるまじ。

Q65. 用法を答えよ。

かの人、世を背くまじかなり。

Q66. 用法を答えよ。

なんぢら、ゆめいたく騒ぐまじ。

Q67. 用法を答えよ。

この山道は雪深くて、え越ゆまじ。

Q68. 用法を答えよ。

宮仕へする人は、あやしき装ひを人に見すまじ。

Q69. 用法を答えよ。

我れ、御供に侍るまじ。

Q70. 用法を答えよ。

われは、老いぬとも、学びをやむまじ。

Q71. 用法を答えよ。

なんぢ、世は偽り多ければ、たやすく人を信ずまじ。心をよく見てこそ信ぜめ。

Q72. 用法を答えよ。

大臣は、今日は御車にも乗らるまじ。

Q73. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめこなたへは来（く）まじ。

Q74. 用法を答えよ。

あさましき御振舞、許すまじきものなり。

Q75. 用法を答えよ。

我れ、命惜しむまじ。

Q76. 用法を答えよ。

「夜更けぬれば、今宵は浮かれ出でたまふまじ。明日の夜こそよからめ」と、女房、中將に聞こゆ。

Q77. 用法を答えよ。

暁に、え起くまじくもあらず。

Q78. 用法を答えよ。

この君ぞ、世に久しくはおはすまじき。

Q79. 用法を答えよ。

仏に仕ふる人は、生ける物を殺すまじ。

Q80. 用法を答えよ。

古き友なれば、なんぢ、知らぬ顔して過ぐまじ。一言なりとも言ひかはさむこそよからめ。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 用法を答えよ。

この家の主は、今宵は帰るまじ。

Q82. 用法を答えよ。

我れ、心を二つに分くまじ。

Q83. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめゆめ人の過ちを笑ふまじ。

Q84. 用法を答えよ。

いみじき御才（ざえ）、誰にも劣るまじ。

Q85. 用法を答えよ。

かばかりの人には、ふたたび会ふまじ。

Q86. 用法を答えよ。

公の御文は、おろかにすまじきものなり。

Q87. 用法を答えよ。

花の色、いまだ衰ふまじく見ゆ。

Q88. 用法を答えよ。

我れ、信を破るまじと誓ふ。

Q89. 用法を答えよ。

大将殿は、今日は参りたまふまじ。

Q90. 用法を答えよ。

なんぢ、ゆめゆめこの箱を開けて見るまじ。

Q91. 用法を答えよ。

足を病みたれば、都までは、え歩むまじ。

Q92. 用法を答えよ。

もののふは、主の御ためには命を惜しむまじ。

Q93. 用法を答えよ。

我れ、今は物思ひはすまじ。

Q94. 用法を答えよ。

かかるめでたき宴は、またもあるまじ。

Q95. 用法を答えよ。

位高き人は、軽々しきことを言ふまじ。

Q96. 用法を答えよ。

歌詠む人は、この歌を知らで過ぐまじきを、我は知らずして過ぎぬ。

Q97. 用法を答えよ。

我れ、これより一步も退くまじ。

Q98. 用法を答えよ。

近く仕うまつる人は、仰せなくては御前を退くまじ。

Q99. 用法を答えよ。

この寺は、千歳を経とも滅ぶまじ。

Q100. 用法を答えよ。

我れ、ふみの道、ゆるがせにすまじ。